

KOBE 六甲全山縦走大会について

〔六甲全山縦走大会とは？〕

神戸市街地の背後に連なる六甲連山。西は須磨から東は宝塚まで、約56kmの尾根をたどりながら、1日のうちに自分の力で歩き通すのが六甲全山縦走です。もともとは、アルピニストの六甲登山の総仕上げ―卒業証書―として、アルピニストに必須の体力と精神を鍛え上げるものとして行われていました。

「KOBE 六甲全山縦走大会」は昭和50年に第1回を実施して以来、本年度で36回目を迎えます。神戸ならではのユニークな行事として全国から参加者が集まり、これまでの参加者数は124,435名、完走者は105,327名に達しています。

〔大会へ参加するにあたって〕

本大会は、全長56kmものコースを1日に約2,000名近くの人が歩き、加えてコースのアップダウンが激しく、体力的にも精神的にもかなり厳しい大会となっているため、通常の山歩きにおける注意事項以外にも、参加者は下記の点を理解した上で参加する必要があります。

・ 自らの責任で歩く

本大会は参加者自らの責任で歩くことを基本にしています。健康管理や食べ物・ライトなどの装備は、各自の責任で行っていただきます。

・ 渋滞を覚悟する

安全・円滑な運営のため1日あたり約2,000人を定員としていますが、それでも狭い山道や階段部分では渋滞がおきます。

・ マナーを守る

一人一人のマナー違反も、2,000人が集まる大会では、他のハイカーや周辺住民の方には大変迷惑なものとなります。ゴミを捨てない、大声を出さないなど基本的なマナーだけでなく、参加用冊子（申込書添付）記載の注意事項を厳守して下さい。

・ 絶対走らない

本大会は初級者から中級者を対象とした大会です。長い道程を長時間かけて歩き通すことに意義があるもので、スピードを競うものではありません。走ることは厳禁です。